

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第3学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 聞き取ったことをもとに、目的に沿って自分の考えをまとめる力が身に付いている。
- 古典において、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して正しく読む力が身に付いている。
- 古典において、原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉える力に課題がみられる。

【数学】

- 結論が成り立つための前提を考え、問題解決の過程や結果を見いだして説明する力が身に付いている。
- 複数のデータから、その分布の傾向を比較して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる。
- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する力に課題がみられる。

【英語】

- 情報を正確に聞き取る力が身に付いている。
- 情報や言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読む力が身に付いている。
- 文と文との関係を正確に読み取り、書かれている内容をつかむ力に課題がある。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 地域や社会をよくするために何かしてみたいという思いが強い。
- 人の役に立つ人になりたいという思いが強い。
- 家で自分で計画を立てて勉強することに課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ ICTを効果的に活用する授業の推進
- ・ 定期考査における活用問題の設定と授業改善の推進
- ・ 定期考査前補充学習としての「質問教室」の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 生徒自らが学ぶ、生徒を主語とした授業づくりの推進
- ・ 小テスト、単元テスト（再チャレンジテスト）の実施
- ・ 九大生と学ぶ「伊都の学び舎」の定期的な実施

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 「楽しい・わかった・できた」を実感する授業の推進と振り返り活動の充実
- ・ 地域貢献ボランティア活動への参加

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 「立腰」「鍛ほめ」を大切にした教育活動の推進
- ・ 日常生活に即した課題設定とゴールを明確にした単元構成